"BIG DREAMS"with"BIG SMILE"
“自己実現　自主自立　そして夢の実現”
こうのうら
佐世保市立神浦小学校
学校便り
今年度のキーワード
『つなぐ（繋ぐ）』No.24
平成２７年９月４日（金）
文責：校長　園田俊郎

学校教育目標　：　心やさしく　進んで学び　たくましく生きる子どもの育成

「関わること」・「共有すること」

子ども達にとって楽しいはずの夏休み。その夏休みに大阪府寝屋川市では衝撃的な事件が起こりました。新聞，テレビ，インターネット等，様々なメディアにおいて，この事件に関する報道や憶測が流されています。いまだ容疑者は黙秘を続けており，事件に関し興味本位とも思えるような情報が垂れ流されたり，容疑者だけではなく被害者やその家族に対する一方的なネット上での批判や誹謗中傷等も見られるようです。

また，いじめ等の理由により自らその大切な命を絶つに至ってしまう子ども達の報道も見られ，それが夏休み明けの９月１日（３学期制の学校に多い２学期の始業式当日）に最も多いという統計結果も出ていました。

事件・事故に対し，私達が報道等から目にしたり，耳にしたりする内容は断片的なものであり，また推測や憶測だけのものもあったりして，その真実は分かりません。警察等により事件や事故の詳細が解明されたとしても私達や世間がその全てを知ることができる訳でもありません。当事者でなければ分からない諸事情や真実があるはずです。ですから表面だけ捉えた軽はずみな意見は控えたいと思います。

ただ，今，思うことは，このような事件・事故が起きてしまう前に，家族，学校，地域の中で，それぞれがその責任において，私達大人が「できること」「できたこと」「しなければならなかったこと」があるのではないでしょうか。

「関われたこと」「関わるべきこと」「関わらなければならないこと」があるように思います。寝屋川事件に対して私達大人がすべきことは，他者への批判ではなく「自分達は子ども達にしっかりと関われているか」という自省だと思います。

例え細やかに丁寧に関わっていても犯罪者はわずかな隙間を狙って潜んでいます。事件・事故は起きるかもしれません。その結果として無力感にさいなまれるかもしれません。それでもしっかりと関わりたい。子ども達を守りたい。そんな学校であり，大人でありたいと思います。

本校では，学校規模が小さく，子ども，職員共に人数が少ないこともあって，日頃から子ども達について頻繁に情報交換をし，共有化しています。また，子ども達の実態をより深く理解し合い，全職員で支援や指導ができるように**定期的に児童理解の為の会議も開催**して，全教職員の課題として，全員で解決を図れるようにしています。必要に応じて，ご家庭へのご連絡や家庭訪問もさせていただいています。

子どもさんのこと，子育てのこと，もし悩みや困りごとがあればいつでもご相談ください。一緒に考えていきましょう。私達も子ども達の微細な変化を見逃さないよう更にアンテナを高くし，感度を上げなければなりません。

今後も，子ども達に関する課題・問題に対しては些細なことでも，情報を共有化し，保護者の皆様とも連携を図りながら，学校全体として子ども達を見守っていきたいと思います。